

もっと

カワサキをカイセキ！

これであなたも川崎マスター

川崎市 2016 統計情報 第2号

平成26年版 大都市データランキング

カワサキを カイセキ！



統計で比較して特徴がわかる！



川崎市総務企画局情報管理部統計情報課

「大都市比較統計年表から見た川崎市」が
今年からリニューアルされました。

平成28年7月に、政令指定都市と東京都区部の21大都市の基礎的な統計を比較した「平成26年版大都市比較統計年表」を刊行しました。

この年表を中心に、大都市と比較することで見える川崎市の長所や特徴を「カワサキをカイセキ！」にまとめました。「人口」、「国勢調査」、「土地」などの11項目、96表を掲載しています。

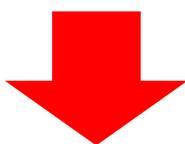
ここでは、更に川崎市を知るきっかけとなる「カワサキをカイセキ！」の読み方をご紹介します。

「カワサキをカイセキ！」のランキング表1つを見ても川崎市の特徴が分かりますが、ランキング表同士で比較すると更に理解を深めることができます。今回は3つの例を見てみましょう！



「通いやすさ」で人気のまち！

P5.⑨ (%)		P7.③ (%)		P19.⑥ (%)		P25.③ (駅)		
社会増加比率		15～64歳人口割合		有業率		市域面積100km ² 当たり 鉄道駅数		
1	東京都区部	0.89	1	川崎市	70.0	1	大阪市	62.2
2	福岡市	0.54	2	福岡市	69.1	2	川崎市	37.4
3	川崎市	0.52	3	東京都区部	69.0	3	名古屋市	28.0
4	さいたま市	0.50	4	仙台市	68.2	4	堺市	23.4
5	札幌市	0.44	5	札幌市	67.7	5	横浜市	21.4
6	大阪市	0.34	6	相模原市	67.5	6	名古屋市	15.6
7	千葉市	0.28	7	さいたま市	67.0	7	神戸市	12.7
8	仙台市	0.27	8	横浜市	66.6	8	相模原市	12.0
8	名古屋市	0.27	9	名古屋市	65.8	9	広島市	11.4
10	相模原市	0.23	10	大阪市	65.7	10	千葉市	11.4
(略)		(略)		(略)		(略)		
平均		0.20	平均		65.7	平均		15.6
			平均		58.3			



川崎市は社会増加比率（転出入による流入超過率）が高い都市です。

また、川崎市は15歳～64歳の人口（生産年齢人口）の割合が高く、そして有業率が高いことから、多くの働く人々が暮らす都市であることが分かります。

多くの人々が川崎市を転入先として選ぶ理由の1つとして、川崎市は市域面積に占める鉄道駅数が多く、通勤に便利なのが考えられます。

川崎市民は勉強家？



川崎市は、1世帯当たりの年平均1か月間の教育費の支出割合が毎年高い水準で推移しています。また、人口1人当たり図書館貸出回数も大都市平均よりも高くなっています。

川崎市民は勉強熱心な人が多いのかもしれないね。



P19.⑤ (%)		P25.① (回)			
1世帯当たり年平均1か月間の教育費の支出割合※		人口1人当たり図書館貸出回数			
1	川崎市	7.87	1	さいたま市	2.19
2	さいたま市	6.60	2	静岡市	1.99
3	福岡市	5.83	3	川崎市	1.87
4	京都市	5.69	4	新潟市	1.74
5	大阪市	5.59	5	京都市	1.67
6	神戸市	4.79	6	岡山市	1.61
7	広島市	4.61	7	名古屋市	1.52
8	静岡市	4.57	8	浜松市	1.42
9	横浜市	4.47	9	千葉市	1.38
10	岡山市	4.41	10	神戸市	1.34
11	(略)		11	(略)	
	平均	4.42		平均	1.44

川崎市民は若くて健康的！



P7.① (歳)		P25.⑦ (人)			
平均年齢		人口10万人当たり生活習慣病による死亡者数			
1	川崎市	41.5	11	(略)	
2	福岡市	41.9	12	千葉市	464.6
3	仙台市	42.3	13	東京都区部	462.7
4	さいたま市	42.8	14	広島市	461.4
4	相模原市	42.8	15	熊本市	459.9
6	広島市	43.1	16	横浜市	442.9
7	横浜市	43.4	17	仙台市	433.3
8	熊本市	43.5	18	さいたま市	426.0
9	岡山市	43.6	19	川崎市	386.7
10	名古屋市	43.8	20	福岡市	383.9
11	(略)	21	相模原市	343.9	
	平均	43.9		平均	480.3



川崎市は、人口10万人当たり生活習慣病（食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に關与する疾患群）による死亡者数が大都市平均と比べて低い都市です。

その理由の1つとして、平均年齢が大都市で最も低いことが考えられます。

他にもこんな特徴が冊子から分かります！

- ◆自然増加比率が最も高い（29年連続）
- ◆出生率が最も高い（25年連続）
- ◆従業者1人当たりの製造品出荷額等が最も高い
- ◆財政力指数が最も高い

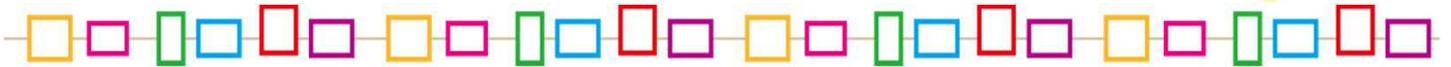




「カワサキをカイセキ！」は 川崎市ホームページで無料ダウンロードできます。

詳しくはこちらをご参照ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-9-6-0-0-0-0-0-0.html>



もっと詳しく知りたい方は・・・



主な参照先の「平成26年版 大都市比較統計年表」は、

- ① 市役所第3庁舎2階 情報プラザ
- ② 高津区役所1階
(最寄駅:東急溝の口駅、JR武蔵溝ノ口駅)
- ③ 麻生区役所2階(最寄駅:小田急新百合ヶ丘駅)

にて490円で発売中！！

もっとカワサキをカイセキ！

平成26年版

平成28(2016)年7月発行

発行 川崎市

編集 総務企画局情報管理部統計情報課

川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044(200)2069

FAX 044(200)3799
